

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第5号（コナジラミ類）を発表しましたので、送付します。

病害虫発生予察 注意報第5号

1 農作物名 サヤインゲン，トマト，ミニトマト，ナス，ピーマン，キュウリ

2 病害虫名 コナジラミ類（シルバーリーフコナジラミ，タバココナジラミ）

3 予報内容

（1）発生地域 県本土域

（2）発生量 多

4 注意報発令の根拠

（1）10月下旬に実施した巡回調査において、露地野菜のサヤインゲンやカボチャ、施設野菜のナス等で発生ほ場率が高く、特に露地野菜のサヤインゲンでは92%（平成29%）と高く、南薩地域ではカボチャに白化症が見られた。

（2）コナジラミ類は、トマト、ミニトマトに深刻な被害をもたらすトマト黄化葉巻病の媒介虫である。

（3）向こう1ヶ月間の天候は、気温が平成並か高いと予報されており、コナジラミ類の活動や発生に好適な条件が続くと予想される。

表．コナジラミ類（シルバーリーフコナジラミ，タバココナジラミ）の発生ほ場率（%）

作物名	本年	前年	平成
サヤインゲン（露地）	92	0	29
カボチャ（露地）	83	0	26
トマト，ミニトマト（施設）	71	-	-
ナス（施設）	100	33	-
ピーマン（施設）	56	58	-
キュウリ（施設）	45	20	8

調査時期：10月下旬

5 防除上注意すべき事項

（1）トマト、ミニトマトでは、侵入を防止するために施設の開口部に必ず防虫網を設置する。また、黄色粘着トラップ設置して早期発見に努め、トマト黄化葉巻病の感染を防ぐために徹底して防除する。

（2）ほ場周辺や施設内の雑草は、生息場所になるので、除草する。

（3）多発すると薬剤の効果が上がりにくいので、初期防除に努める。特にサヤインゲンでは莢に白化症状を引き起こすので注意する。

（4）薬剤は、抵抗性の発達を防止するために、同一系統の薬剤を連用しない。